

17 古文3 内容を読み取る

組	
番号	
氏名	

1 次の文章を読んで、問いに答えなさい。

〔平成十九年 宮城県公立高校入試問題〕

①人の心は、水の入れものにふうがごとし。入れもの細ければ、すなわち細し。まろければ、すなわちまろくなる。心は朋友ほうゆうにならふ。いかが選ばざるべけん。

〔「十訓抄」による〕

※いかが選ばざるべけん。…どうして選ばないでいられようか。

① 右の文章中に「①人の心は、水の入れものにふうがごとし。」とありますが、次の文章は、このことを説明したものです。(a)、(b)の問いに答えなさい。

水は入れものによってその形が決まる。この水と入れものとの関係は、人の心と との関係にあてはめることができる。

(a) にあてはまる言葉を、文章中からそのまま抜き出して答えなさい。

(b) 「人の心」が「水」にたとえられるのはなぜですか。「人の心は、水と同じように」という言葉に続けて、その理由を、三十字以内で説明しなさい。

		人
		の
		心
		は
		、
		水
		と
		同
		じ
		よ
		う
		に

② 右の文章から読み取れる筆者の考えとして、最も適切なものを、次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

ア 一生のうちで、心を通わせられる真の友人にめぐり会うことはまれである。

イ すぐれた友人を見習って、自分の行いを改めるよう心がけたいものである。

ウ 友人は多ければ多いほどいざというときに頼りになり、心強いものである。

エ 互いの成長には、よい影響を与え合うような友人を見つけたいものである。

